

公民館だより

由良公民館

また、とおおりのつるかも知れないが、本館に入って近畿地方の交通事故による死者が、遂に千人を越したとのニュースを新聞見た。百傷者はおおらぬ数字を越えていることだろう。まことに大きな問題である。日本の代表的な新聞によれば、十数人の交通事故の記事よりも、アロ野球選手の一ホームランの方が、遙かに大きな見出しで報じられている。どうも、

時間と人命

朗 人間の寿命には限りがある。しかし我々は、重い病気にでも罹らない限り、何時までも生き延びたい。病気が治って死に一生を得た時間を得たといふことである。その時間は即ち我々のこの世の命、そのものの命である。

自分の不注意から、会合の時間に遅れて他人を待たせたりといふことは、その人達の限られた生命をいくらかでも奪つたのであつて、殺命罪に等しいといふのは言い過ぎだろうか。

「交通事故防止」と「時間厳守」。どちらもこの世で一番大切な人間の命を守る運動として、推進して行きたいと考えています。

明るく正しい選挙を

私たちが、良き市民として、選挙の自覚を理解して臨み、有権者として、胸を張って、選挙行爲をばつしんで、清き一票を投じて、明るく正しい選挙を行つよう、お互に心掛けます。

前館長 岸田 六右エ門

公民館だよりが発行されるたびに、貴重紙面をおかりして辞任の御挨拶を申し上げます。

三年間大過なくつとめさせて頂きました事は、皆様のおかげ、かい御同情と御支援の賜ものと、あつく感謝申し上げます。

任期中感じました事を二處ござして頂きますと、公民館運動は難しいが地区の発展と地区住民の方々の融和を図る上からは是非進めて行くべき運動であり、地区の方々の絶対的御協力と御支援を頂ければ、上層部御褒賞の望みもなくなり、運動の進展は到底望めないと感じました。尚、このような点を充分御理解頂いて、三十九年度より選管委員を各々お出しして頂いた点特に有難く感じました。今後とも私の任期中も引き続き頂きました御支援と御同情を更に強く今後公民館運動推進に於いて頂くようお願い申し上げます。

毎日一つとつとつ梅雨模様が続く折柄、皆様お勤めにお忙しいことと存じます。今回役員更替によりまして、不肖私副館長の要職をお受けすることになりました。一元々

副館長 大森 金藏

みんな守ろう

新生活運動の推進につぎましては、みまの特別御理解と御協力により、着々と成果を得てまいっておりますが、まだ不徹底な面も自覚しております。

さらには徹底させたいと思っております。今後ともみまの御協力をお願い致します。

一、見直しは全廃する。

二、仏事

(1) 葬式・忌明け 初七日の行事は、葬儀のみ自限りする。

(2) 食事は当日食べる程度とする。

(3) 焼物は破封二袋を限度とする。

【お知らせ】各種用紙類をソート大会は六月一日(日)正午から午後八時入場無料にて開催いたします。ご参加の方は、お早めにお申し込みください。(個人会費は別紙参照)三都府会

昭和41年度 由良地区公民館予算

収入之部		支出之部	
前年度繰り	258,000	雑費	17,100
度配分	79,100	事務費	25,500
越前支部	53,000	教育費	5,000
度配分	15,000	文化費	1,000
前年度繰り	15,000	その他	1,000
合計	150,398	合計	150,398

昭和41年度 行事計画

〇 教養部	
成人式	1月15日
文化祭	11月3日頃
新生活運動推進	
講演会(市政及び一市民)	9月頃
公民館だより発行	年4回
社会見学	未定
〇 図書部	
図書貸出	巡回映画会
巡回図書貸出	
郷土芸能保存	
〇 体育部	
各種団体親善メチ大会	6月
球技大会	8月
婦人バレーボール大会	8月
地区大運動会	未定
剣道練習	随時

なぜ本を読むことは大切かといふことは、私たちに、自分の経験を積み重ねたいという基本的な要求があります。

新しい経験は、それが新しいといふだけで魅力があるものではない。私たちが輝かに地に旅行するのにも、新しい経験を求める心理のあらわれと言えます。この新しい経験を求めることを、能力増強の要とします。これと並ぶもう一つの要求は、自分の生活を安定させ、確固たるものに維持しようとする要求です。このために新しい経験を求めてみる、そしてそれに成功すれば、自分の能力や性質に自信をもって、自分にもできるのだという安定感をもちこたげられます。

本はこのよう、新しい経験をさせてくれるものです。本の中には、人間にできる経験がほとんど書き記されています。

たとえば、旅行の本なら読んでおくと、旅にならないうちから、旅の準備ができています。また、小説を読んでも、その主人公と一緒に生きていて、自分の身に覚えがくることがあります。

このように本を読むと、自分では直接経験できない新しい経験をすることができ、また、利点でもあるのです。利点とは、私たちが実際に経験の出来ないことを、本を通じて経験できることです。

現代の社会の中で、人間らしく安定した生活をしていくためには、本によっていろいろな経験をさせてもらい、成長させたい。

(図書部)

公民館の図書貸出

公民館の図書貸出は、毎週金曜日午後八時～一、六時

貸出冊数 一人二冊以内

期間 一週間

借付の図書

公民館蔵書 四〇〇冊

府立図書館蔵書 五〇〇冊

公民館蔵書 五〇冊

〇 貸出文庫

只今、四七(二)五五(三)五五(四)五五(五)五五(六)五五(七)五五(八)五五(九)五五(一〇)五五(一一)五五(一二)五五(一三)五五(一四)五五(一五)五五(一六)五五(一七)五五(一八)五五(一九)五五(二〇)五五(二一)五五(二二)五五(二三)五五(二四)五五(二五)五五(二六)五五(二七)五五(二八)五五(二九)五五(三〇)五五(三一)五五(三二)五五(三三)五五(三四)五五(三五)五五(三六)五五(三七)五五(三八)五五(三九)五五(四〇)五五(四一)五五(四二)五五(四三)五五(四四)五五(四五)五五(四六)五五(四七)五五(四八)五五(四九)五五(五〇)五五(五一)五五(五二)五五(五三)五五(五四)五五(五五)五五(五六)五五(五七)五五(五八)五五(五九)五五(六〇)五五(六一)五五(六二)五五(六三)五五(六四)五五(六五)五五(六六)五五(六七)五五(六八)五五(六九)五五(七〇)五五(七一)五五(七二)五五(七三)五五(七四)五五(七五)五五(七六)五五(七七)五五(七八)五五(七九)五五(八〇)五五(八一)五五(八二)五五(八三)五五(八四)五五(八五)五五(八六)五五(八七)五五(八八)五五(八九)五五(九〇)五五(九一)五五(九二)五五(九三)五五(九四)五五(九五)五五(九六)五五(九七)五五(九八)五五(九九)五五(一〇〇)

公民館 毎日一つとつとつ梅雨模様